



農村環境の保全と都市農村交流

こたがわ

小田川地域農村資源・環境保全推進委員会（山梨県韮崎市）

にらさき

韮崎市の北部に位置し、塩川に沿って広がる田園地帯において、10年以上にわたり交付金を活用して農地、農道、水路の保全管理に取り組んでいる。

当該地域は県内有数のホタルの里といわれる昔ながらの農村風景が残り、その自然の保全とあわせて、ホタル鑑賞会や都内企業の農業研修を誘致するなど積極的に都市農村交流も図っている。

活動開始前の状況や課題

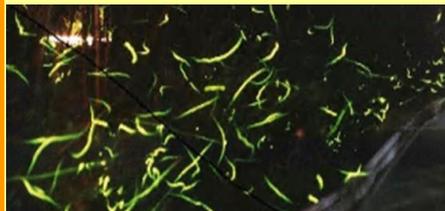
- 当該地域は昔から水の豊富な水田地帯で、かつては多くのホタルが見られたが、近年の水路のコンクリート化等により激減した。
- 農業者の高齢化や後継者不足に伴い農業水利施設等の維持管理が困難となることが予想されていた。



ホタルの繁殖する水路

取組内容

- 子供達にホタルを見せたい」といった思いから地元の有志が昭和61年に「小田川ホタル愛護会」を組織しホタルの生息環境の保全を図っている。
- 愛護会では、親ホタルを捕獲し産卵・ふ化させ、独自に開発した飼育装置により養殖した上で、川に放流している。



乱舞するホタル



ホタルの飼育装置

【地区の概要】

- ・取組面積：17.5ha
(田17.5ha)
 - ・資源量：開水路 4.0km
農道 2.0km
 - ・構成員：自治会、土地改良区、小田川ホタル愛護会等
 - ・交付金：約1.6百万円
- 農地維持支払
資源向上支払(共同、長寿命化活動)

活動の効果と今後の展開

- ホタルの鑑賞時期に「小田川ホタルまつり」を開催し、地域の食材の販売や地域のPRを行い、都市農村交流を図っている。
- 活動状況の動画を作成し、FacebookやYouTubeを活用し積極的に情報発信を行っている。
- この結果、Uターン等による新たな担い手や農家民宿の起業などにつながっている。

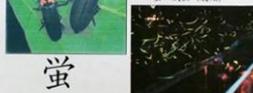


ホタルまつりでの
地元農産物の直売

第31回 韮崎ホタルの里 小田川ホタルまつり

日時 令和元年6月15日(土) (雨天決行)
午後6時00分～午後9時30分
会場 韮崎市小田川
(国道141号線沿い) 柳原神社境内前広場

主催 小田川ホタルまつり実行委員会
後援 韮崎市環境委員会、韮崎市農工部、市民会館
協賛の成虫(産卵)



●イベント 県立農工産業科本館開催、小田川ホタル産卵
ホタル鑑賞、卵の採取、産卵体験、産卵後管理、産卵後観察
●無料駐車場 イスローパスト設備店(株) 韮崎、ユーピーエフ
●無料シャトルバス運行 イスローパスト設備店(株) 韮崎
※バスは産卵後、イスローパスト設備店(株) 10分
無料シャトルバスはイベント終了後(午後9時30分頃)

【問い合わせ先】
電話 0551-25-5619 連絡 0551-25-6537
FAX 0551-25-5882

ホタルの鑑賞ができます(捕獲禁止)
6月15日(土)のみの開催です。(雨天決行) 午後6時00分～午後9時30分
注) ホタルは自然の生き物です。写真撮影は許可された方のみです。
このホタルまつりには、産卵後管理や産卵後観察など、産卵後管理が不可欠です。
産卵後管理は、産卵後管理が完了した後に実施されます。

ホタルまつりポスター